



平成 26 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 日 新  
代表者名 代表取締役会長 筒井 博  
コード番号 9066 (東証 第一部)  
問合せ先 経営企画部長 桑原 智  
(TEL. 03-3238-6555)

## 第5次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2014年4月から2017年3月までの第5次中期(3カ年)経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 第5次中期経営計画の概要

#### 【基本方針】

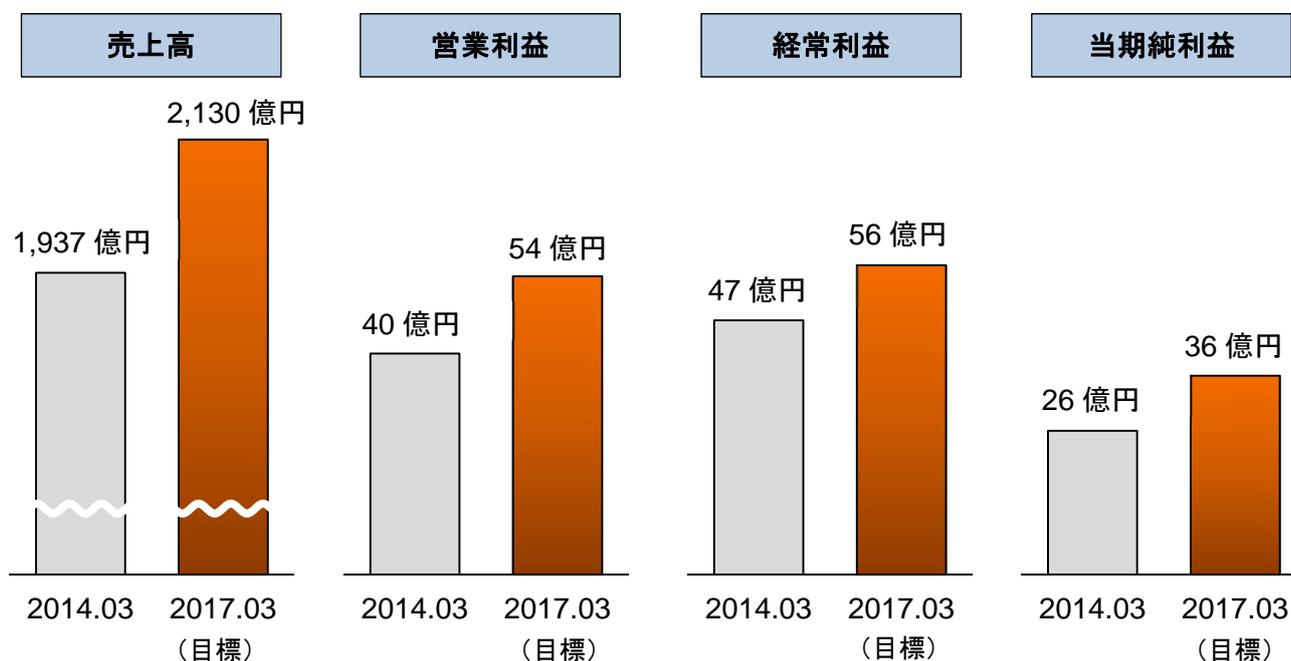
「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー」への成長・発展

#### 【重点施策】

1. 海外事業の強化・拡大  
「自動車産業」を軸に収益拡大
2. 国内事業の再構築  
コスト競争力の強化ースリム化と経営効率化
3. 経営基盤の強化

#### 【最終年度数値目標(連結)】

|           |               |
|-----------|---------------|
| 売 上 高     | 2,130 億円、10%増 |
| 営 業 利 益   | 54 億円、34%増    |
| 経 常 利 益   | 56 億円、20%増    |
| 当 期 純 利 益 | 36 億円、37%増    |



## I. 第4次中期経営計画のレビュー

第4次中期経営計画(2011年4月～2014年3月)では、「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー(GLSP)」への成長・発展をテーマに、より海外事業に軸足を移した事業展開を推進し、収益力の強化に取り組みました。

特に、中国やアジア、メキシコといった成長・新興国にリソースを重点的に投入し、事業基盤の拡充に努めました。この結果、海外現法の売上高は、約260億円(2011年3月期実績)から約460億円(2014年3月期実績)に、約1.8倍拡大いたしました。

### <主な重点施策 取り組み・成果>

#### 1. フォワーディング事業の強化

- インドでの事業体制を整備 — チェンナイ、バンガロールに拠点開設
- メキシコでの事業体制を整備 — メキシコシティ、グアダハラハラに拠点開設
- タイ-マレーシア間でのトラック輸送体制を拡充

#### 2. 成長・新興国への注力

##### 【中国】

- 深圳に現地法人(深圳日新)を設立、日新中外運、上海高信の出資持分を増加

##### 【東南アジア】

- [タイ] 低温輸送に特化した現地法人(BCC社)を設立、低温輸送サービスを開始
- [マレーシア] マラッカに自動車産業向け新倉庫を開設
- [シンガポール] チュアスに新倉庫を開設
- [ラオス] 現地法人(ラオス日新)を設立、メコンランドブリッジ輸送サービスを開始

##### 【その他成長・新興国】

- [インド] インド日新の出資持分を増加、トラックを増車(300台体制)
- [メキシコ] 中部地区(セラヤ、シラオ)に自動車産業向け新倉庫を開設

#### 3. 新たな成長モデルの開発・育成

- [危険品] 海上危険品混載サービス・ISOタンクコンテナ輸送サービスを開始
- [食品] アジア向け海上冷凍混載サービスを開始

#### 4. 強固な経営基盤の強化

- グループ標準の業務・会計システムの導入を拡大
- CMS(キャッシュマネジメントシステム)のグループ会社への展開を拡大

### <収益実績(連結)>

(単位:百万円)

|       | 2011.03<br>実績 | 第4次中期経営計画     |               |         |                 |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------|-----------------|
|       |               | 2012.03<br>実績 | 2013.03<br>実績 | 2014.03 |                 |
|       |               |               |               | 実績      | 2011.03比<br>増減率 |
| 売上高   | 175,478       | 179,059       | 175,230       | 193,709 | 10.4%           |
| 営業利益  | 4,128         | 3,791         | 3,422         | 4,042   | △2.1%           |
| 経常利益  | 4,357         | 4,119         | 3,558         | 4,681   | 7.4%            |
| 当期純利益 | 1,984         | 1,951         | 1,836         | 2,624   | 32.3%           |

## II. 第5次中期経営計画

第4次中期経営計画に引き続き第5次中期経営計画においても、「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー (GLSP)」への成長・発展を主テーマとして、自動車関連物流を軸に海外事業の強化・拡大、および、事業環境が大きく変化する国内での事業再構築を進めるとともに、経営の効率化をはかることで、国際競争力を向上させ、計画最終年度には、売上高 2,130 億円、営業利益 54 億円、経常利益 56 億円、当期純利益 36 億円の達成をめざしてまいります。

### <重点施策>

#### 1. 海外事業の強化・拡大 — 自動車関連物流を軸に展開加速

1) 重点地域 — 米州(米国、メキシコ)、アジア(タイ、インドネシア、インド)、中国

2) 海外現地法人の事業基盤強化

- フォワーディング、ロジスティクスの高度化 — グローバル SCM への対応
- 新たな業務・顧客の開拓
- リスク管理体制の強化

3) 海外地域別の取り組み

##### 【米州】

- 自動車関連物流の拡大 — メキシコ中西部、米国中西部での基盤強化
- 食品物流の強化 — 東南アジア・中国向けの増大
- 米系顧客への展開 — M&A による顧客基盤拡大

##### 【欧州】

- 事業体制の再編および新たな拠点展開

##### 【アジア】

- 自動車関連物流の拡大 — SCM 対応倉庫、クロスボーダー輸送の拡充
- 大メコン圏・マレー半島広域物流網の整備
- ラオス、ミャンマー、カンボジアでの事業展開推進

##### 【中国】

- 自動車関連物流の強化 — SCM 対応倉庫の整備、中西部・東北地区への事業展開
- フォワーディング体制の拡充 — アライアンス先との連携強化

#### 2. 国内事業の再構築

1) 収益力向上

- 陸運・ドレイ事業の再構築
- ターミナル事業の再編、効率化

2) 新規事業展開、既存業務の拡大

- 成長分野(食品・医薬医療・危険品物流)への展開強化
- 高収益施設への建替え — 関東・九州地区での施設再構築
- IT サービス提供の事業化推進

3) 効率的組織への再編

### 3. 経営基盤の強化

- 1) 資産の効率化 – 管財機能の強化、不動産の活用
- 2) グローバルリスク管理体制の強化

#### <計画最終年度の数値目標(連結)>

(単位:百万円)

|          | 2014.03<br>実績 | 2017.03<br>目標 | 増減率   |
|----------|---------------|---------------|-------|
| 売上高      | 193,709       | 213,000       | 10.0% |
| 営業利益     | 4,042         | 5,400         | 33.6% |
| 営業利益率    | 2.1%          | 2.5%          |       |
| 経常利益     | 4,681         | 5,600         | 19.6% |
| 当期純利益    | 2,624         | 3,600         | 37.2% |
| ROE(純利益) | 6.1%          | 7.2%          |       |

#### 【定量目標】

- 1) 海外現法の売上高拡大: 460 億円(2014.03) → 570 億円(2017.03 目標)

|       | 2011.03<br>実績 | 第4次中計         | 第5次中計         |                  |
|-------|---------------|---------------|---------------|------------------|
|       |               | 2014.03<br>実績 | 2017.03<br>目標 | 2014.03 比<br>増減率 |
| 海外売上高 | 260 億円        | 460 億円        | 570 億円        | 23.9%            |

- 2) 連結営業利益率の改善: 2.1%(2014.03) → 2.5%(2017.03 目標)
- 3) ROE の改善: 6.1%(2014.03) → 7.2%(2017.03 目標)

#### 【新規設備・投融资】

第5次中期経営計画における新規の設備投融资金額は国際物流強化、国内施設の拡充を中心に 150 億円を予定しております。

以 上